

7. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ

敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じたうえで、29コースの公開研修を計画しています。以下はお申込み期限が近づいている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細、応募方法は、QRコード※または下記 URL から当社ホームページをご覧ください。

なお、当面の間、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、福井県以外の地域からの受講お申込みをお断りしています。また、研修日から遡って14日以内に福井県外を訪問された方の受講お申込みをお断りしています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

<http://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html>

研修名	研修概要	研修期間	申込期限
根本原因分析手法コース	事故やトラブルの原因分析に使われる SAFER (Systematic Approach For Error Reduction) を理解し、問題の根本的な原因を明らかにする手法を学びます。 本コースで学ぶ手法は、原子力の現場だけでなく、一般産業のあらゆる場面でも活用できます。	11月25日午後～26日(1.5日)	10月15日
安全体感コース	高所作業や玉掛け作業、回転体への巻き込まれなど作業の危険性や回転体に潜む危険を疑似体験することにより、安全意識の向上と危険回避能力の向上につながります。 原子力発電所に関係する現場の他に一般の工場、工事現場でお仕事をされている全ての方に有益な研修です。	11月30日	10月21日
労働安全衛生コース	従業員や作業員を災害から守るために労働安全衛生法の基礎知識および安全管理の手法の一つである労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS) について学びます。また、現場作業の危険性を疑似体験することにより安全意識の向上を目指します。 本コースは原子力作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	12月6日、7日	10月27日
プラントシミュレータコース	原子力発電教育シミュレータを用いて、加圧水型軽水炉 (PWR) と沸騰水型軽水炉 (BWR) を比較しながらプラント起動操作や原子炉出力変更などの運転操作を模擬体験するとともに、原子力発電所の安全確保の仕組みを学びます。 2日間コースですが、1日単位の受講も可能です。	12月7日 (PWR) 8日 (BWR)	10月28日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター (敦賀市番見165号9番地6)
電話: 0770-21-9700 FAX: 0770-21-9726 (応募申込み専用)
メールアドレス: tsuruga-tr-center@japc.co.jp

敦賀総合研修センター▶



げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ



◀こちらから げんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

◆能面への誘い 新作能面個展 大同 長久 9月28日(火)～10月3日(日)

趣味で長年能面打ちをされている大同 長久 様による作品展です。郷里若狭能倉座の古面などを参考に制作された新作を中心に、能面作品 27 点を展示中です。



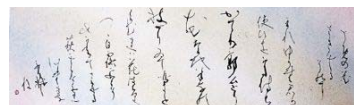
◆動物たちにぬくもりを！動物あいごパネル展 10月5日(火)～10日(日)

動物たちとの共生を推進する会 (代表: 藤田 幸雄 様) によるパネル展です。日本の動物愛護の現状と課題 (アニマルセラピーなどの動物福祉社会の実現、気候変動に伴う生物の生命危機意識高揚など) についてのパネル約 200 点を展示予定です。



◆みやび会 書道展 仏画展 感謝 (コロナの中で生かされていますことに) 10月19日(火)～24日(日)

みやび会 (代表: 川瀬 雅園 様) の 16 名の皆さまによる作品展です。会員の方々の、のびのびとした習字、仏画など 20 点を展示予定です。



◆第15回 八洲学童書展 10月26日(火)～31日(日)

八洲書道教室 (代表: 幸光 八洲 様) の小学生から高校生までの児童生徒の皆さまによる作品展です。硬筆と毛筆で書かれた作品 80 点を展示予定です。後援: 敦賀市教育委員会



◆創作切り絵展～つながり～ 11月2日(火)～7日(日) 最終日は15:30まで

松原公民館切り絵の会 (代表: 霜田 悟 様) の 7 名の切り絵作品と、霜田 愛華 様による絵画作品展です。今回は、山中 きぬ子 様の切り絵作品をメインに、25 点を展示予定です。



お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 10:00～16:30※ 休館日 12月29日～1月3日
※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。
<http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/fureai.html>



感染防止徹底宣言ステッカー
を取得しています

本資料の作成元・お問合せ先: 日本原子力発電株式会社 (略称: げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部

TEL: 0770-25-5713 住所: 敦賀市本町2-9-16



げんでん いんふおめーしょん 10月号

2021年10月1日

No.206

1. 敦賀発電所の状況 (2021年10月1日現在)

プラント (炉型)	状況
1号機 (沸騰水型) 	●2017年5月15日より廃止措置工事中 (廃止措置期間: 24年) ○2015年4月 営業運転終了 ○第4回定期事業者検査中 (2021年4月1日～11月下旬予定) ○タービン補機冷却系熱交換器他解体工事中 (2021年2月22日～) 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2号機 (加圧水型) 	電気出力 116.0 万 kW, 1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量 1922 億 9908.3 万 kWh ●2011年8月29日～ 第18回定期検査中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 ○2015年11月5日に新規規制基準への適合性確認審査のための申請を行い、現在審査対応中です。対応状況は、以下をご覧ください。

= 敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について =

原子力規制委員会による審査は、現在、敷地内破砕帯評価と地震動評価 (地震の揺れ) の二つの論点について進められています。

昨年2月の敷地内破砕帯評価に関する審査会合において、敷地北側にある断層 (K断層) と2号機原子炉建屋の直下にある破砕帯との関連性について当社から説明したところ、審査資料に当初記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し、詳細データとなる顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて、不適切であるとのご指摘を受けました。

ご指摘を受けた件については、審査とは別に品質保証に係る検査として確認していただくとともに、審査を継続していただいておりますが、8月18日に開催された原子力規制委員会において、調査データに基づく当社の評価結果の信頼性が確認されるために必要な業務プロセスの構築が確認されるまでの間は、審査会合を実施しないという方針が示されました。

当社は、今回の原子力規制委員会の決定を重く受け止めるとともに、審査の進展を期待いただいている地域の皆さまに多大なるご心配をおかけしていることを、心より深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては、原子力規制委員会から示されましたご指摘には真摯に、また適切に対応し、品質管理の継続的な改善を図るとともに、早期に審査会合を実施していただけますよう、全力で取り組んでまいります。

2. 敦賀発電所3, 4号機準備工事の状況 (2021年10月1日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



建設予定地の状況 (2021年9月28日撮影)

3. トピックス

(1) 敦賀市市民原子力研修会を実施

8月24日、敦賀市が主催する市民原子力研修会に、敦賀市立看護大学（以下、看護大学）の皆さまが参加されました。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、敦賀市役所、看護大学、敦賀発電所をつないだオンライン開催とし、敦賀発電所の看護師が原子力発電所における応急処置や被ばく医療などの所内業務の説明を行いました。

看護大学の皆さまからは、「発電所での感染症対策」「現場での体調不良者・負傷者の対応」などについての質問をいただき、発電所における医療に理解を深めていただきました。



オンラインによる看護大学の皆さまと敦賀発電所看護師との意見交換の様子



(2) インターンシップを実施

当社は、高等専門学校の工学系学生の方々を対象に、原子力発電に係る知識の習得を目的としたインターンシップを行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催としました。

敦賀発電所および敦賀総合研修センターにおいて8月30日から9月3日の5日間に行われた5-day インターンシップでは、福井県外の高等専門学校10校から12名の学生が参加され、発電所の仕組みと安全対策、放射線管理、廃止措置、発電設備の運転・管理、敦賀発電所若手社員との意見交換といった講義や交流、グループワークに取り組んでいただきました。

学生の皆さまからは、「メディアの情報に注目していたが、実際に働いている人の話と違っていた。自分で知識を手に入れることが大事だと思った」「社員との意見交換で自分が求めている以上の知識が得られた」「原子力発電所に行ってみたくなった」などの感想をいただき、原子力発電への関心を深めていただきました。

当社は、引き続き、学生の皆さまに原子力発電に興味をもっていただけるよう取り組んでまいります。



オンラインによる学生の皆さまと敦賀発電所若手社員との交流の様子

(3) 敦賀原子力館 不審者対応訓練を実施

9月22日、敦賀原子力館において不審者侵入時の対応訓練を行いました。

訓練では、不審者が原子力館職員に危害を加えようとすることを想定し、催涙スプレーによる防御、非常ブザーによる模擬通報、被害状況確認などの初動対応や、来館者の避難・誘導、警察など関係箇所への模擬通報、防犯カメラの映像の確認などを行いました。

館員は、万一の事態に備え、状況を確認しながら適切かつ迅速に行動し、不審者侵入時の心構えを再確認しました。



◀催涙スプレー



敦賀原子力館 不審者対応訓練の様子
写真上：催涙スプレーによる防御
写真左：防犯カメラの映像の確認

4. コミュニケーション活動

・げんでんふれあいトークを実施

9月10日に敦賀市消費者連絡協議会 理事会、16日に福井県警察学校にお伺いし、敦賀発電所の現況、再生可能エネルギーなどについて説明したあと、ご参加の皆さまと意見交換を行いました。

皆さまからは、「原子力発電の正しい知識を得るためには、コミュニケーションがとれるこのような場が大切だ」「原子力発電所が数多くある福井県の警察官にとって必要な知識を得ることができた」などのご感想をいただきました。

「げんでんふれあいトーク」は、当社社員が地域の皆さまのところにお伺いして原子力発電に関することをわかりやすく説明し、皆さまとの意見交換をとおしてコミュニケーションを深めさせていただく活動です。自治会の会合、サークルの集まりなどに、ぜひ、お声かけください。



げんでんふれあいトークの様子
写真上：敦賀市消費者連絡協議会 理事会の皆さま
写真左：福井県警察学校の皆さま

◀お時間は30分程度▶

- 少人数の集まりにもお伺いします。
- テーマは、
 - ・敦賀発電所はどこにあるの？
 - ・地震や津波の安全対策は？
 - ・もし事故が起きたら？ など
- (その他、ご希望のテーマがありましたら、ご相談ください)



0770-25-5713

立地・地域共生部（担当：浜多、池田）

5. 次世代層への教育支援活動

・げんでんふれあいギャラリーで敦賀市小中学校児童生徒理科作品を展示

9月14日から19日、敦賀市小中学校児童生徒理科作品展示（主催：敦賀市小中学校教育研究会理科部会）の開催場所として、げんでんふれあいギャラリーをご利用いただきました。作品展は、毎年、敦賀市内の多目的ホール「きらめきみなと館」などで開催されていますが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響のため中止となり、げんでんふれあいギャラリーのみの展示となりました。

展示会では、小学校から2,124点、中学校から1,158点の応募があり、その中から優秀作品51点（小学生36点、中学生15点）が展示されました。

展示期間中は多くのご家族連れのお客さまにおいでいただき、敦賀市内の児童・生徒が夏休みに創意工夫を凝らし取り組んだ理科作品・工作をご覧いただきました。

当社は、引き続き、地域の児童生徒の皆さまを対象とした次世代層への教育を支援してまいります。



熱心に展示作品をご覧になるご来場の皆さま

6. 主な報道発表（2021年9月3日以降）



◀こちらから当社ホームページをご覧ください

詳細な内容は当社ホームページ <http://www.japac.co.jp> をご覧ください。

当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について

9月24日

当社（福井地区）は、9月23日、敦賀発電所に勤務する当社協力会社社員1名が、新型コロナウイルスに感染していることを確認しました。
当社は、これまで新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止対策を実施しており、発電所の運営に影響はありません。引き続き、感染拡大防止に努めてまいります。